

# 第4 バリアフリー対策

## 1 バリアフリーのまちづくり

本市では、高齢者や障害のある人などが安全で快適な社会生活を送ることが出来るよう、平成9年度より歩道の設置や段差の解消を始めとして、バリアフリーのまちづくりを進めてきました。特に多くの市民が利用する小倉都心地区では交通バリアフリー法（平成12年11月施行、平成18年12月バリアフリー新法へ移行）の基本構想に相当する「小倉都心地区バリアフリーのまちづくり推進計画」（平成10年12月）を策定し、平成11年度末で概ね完成しています。また、黒崎副都心地区においても平成14年6月に「黒崎副都心地区バリアフリー基本構想」を策定し、平成24年度で概ね完成しています。

さらに、道路や建物等の整備に合わせて、ソフト面でも啓発活動等の取組みを積極的に進めています。

### (1) 高齢者や障害のある人などに配慮した道路整備の方針

㊦ 道路のバリアフリー化については、建設局道路計画課

(Tel.582-3888)

㊧ 駅のバリアフリー化については、建築都市局都市交通政策課

(Tel.582-2518)

高齢者や障害のある人などに配慮した安全で快適な歩行空間を確保するため、歩道の広幅員化や段差、傾斜、勾配の改善、電線類の地中化など歩行空間のバリアフリー化を進めています。

### ☆ 主要駅周辺地区のバリアフリー化

バリアフリー化されていない公共交通施設の昇降設備設置に合わせて、高齢者や障害のある人などが日常生活又は社会生活において利用する官公庁施設、福祉施設その他の施設の所在地を含む地区について、駅及び駅周辺や病院などの公共施設周辺のバリアフリー現地地点検を実施し、問題点等の抽出、改善を行います。

「バリアフリー点検」は、市民のバリアフリーのまちづくり参加意識を高め、高齢者や障害のある人など誰もが安心して利用できるまちづくりを創出するための実践的な取組みとして行うものです。



▲バリアフリー点検

### ☆ 生活道路における交通安全対策

近年の交通事故死者数は、歩行者・自転車乗車中が半数を占め、さらにその半数は自宅から500m以内の生活道路で発生しています。

このため、歩行中・自転車乗車中の死者数を全体の減少割合以上の割合で減少させ

ることを目標として、「生活道路対策エリア」を選定し、人優先の安全・安心な歩行空間の整備を推進しています。

「生活道路対策エリア」では、ETC 2.0 ビックデータの活用により事前に潜在的な危険箇所を特定し、事故減少を目的にした効果的かつ効率的な交通安全対策に取り組んでいます。

【取組事例】



▲ハンプ



▲狭さく

(2) 高齢者などが利用しやすい公共交通機関の整備

㊦ 市営バスの停留所については、交通局営業推進課 (Tel 771-8410)

高齢者や障害のある人などが安全に利用できる公共交通機関の整備を促進していきます。

☆ 低床式乗合バスの導入

高齢者や障害のある人などが安全で円滑に乗降できるように、市営バスへの低床式乗合バス（乗降口のステップを低くしたり、スロープを装備するなど、高齢者や障害のある人が少しでも利用しやすいように配慮したバス）の導入を進めるとともに、民営バスについてもその導入を促進していきます。



▲スロープ付バス



▲低床スロープ付きノンステップバス

☆ バス停留所の環境改善

高齢者や障害のある人などのバス利用時の利便性や快適性の向上を図るため、雨や強い日差しを避けることのできる屋根付き停留所や、行き先・経路・時刻を見やすくするための幅広バス停標識、ベンチの設置など市営バスのバス停留所の環境整備を進めるとともに、民営バスについても、その整備を促進していきます。

## 2 心のバリアフリーの推進

### (1) バリアフリーウィーク

「人にやさしいまちづくり」に関する市の取組みを広く市民にPRするとともに、「人にやさしいまちづくり」に対する市民の意識の高揚と主体的な取組みへ繋がるきっかけづくりを図るための啓発事業として、『北九州市“人にやさしいまちづくり週間（バリアフリーウィーク）”』事業を平成11年度から継続的に実施しています。

☆ 令和2年度のバリアフリーウィーク期間…11月1日(日)～11月15日(日)

#### ●令和2年度の実施事業と参加人数

事業名	参加人数
<b>事業概要</b>	
○ 西部障害者福祉会館「ものづくりワークショップ」 市民に障害福祉への理解を深めてもらうため、障害の有無にかかわらず地域市民が参加できる講座を開催。	62
○ 2020年聴覚障害者情報センターのつどい 聴覚障害関係団体のPR映像の放映や、聴覚障害のある人とのオンラインでの交流などを行った。	41
○ 第15回北九州市小学生車いすバスケットボール大会 小学生車いすバスケットボール大会を開催。	100
○ 第13回北九州市障害者芸術祭 北九州市で活動している障害のある人が作成した写真・絵・書道などの作品を展示。また、これまでの受賞作品など優れたアート作品を印刷したバナー等を商店街に掲示。	230,563
○ 人権を考える5分間のラジオ番組「明日への伝言板」 子どもの作文や詩のほか、日常生活のさまざまな話題から人権の大切さを考える番組を放送。	—
【関連事業】 ムーブ・レディス映画祭 聴覚障害のある人にもお楽しみいただけるよう、字幕付き映画の上映会を開催。	382
【関連事業】 令和2年度発達障害について学ぶ市民講座「ネット・ゲーム依存の現状と対応」（オンライン開催） インターネット依存症の研究や治療を先駆的に行っている講師を招き、講義を実施。	100
【関連事業】 障害者週間啓発事業 障害や障害のある人への理解を深めてもらうため、街頭啓発を実施。	639
【関連事業】 ファーマーズ・マルシェ 農福 北九州（県主催） 障害のある人の工賃向上を図るだけでなく、障害のある人が農業分野で就労する農福連携について広く県民に周知を図るため、障害者就労施設等が作る農作物や農産加工品を販売した。	—
全9事業	231,887人

(2) 北九州チャンピオンズカップ国際車いすバスケットボール大会の開催

本市におけるバリアフリーの取組みが評価され、平成14年8月にアジアで初めて開催された「2002年世界車椅子バスケットボール選手権大会・北九州（北九州ゴールドカップ）」を記念するとともに「市民による手づくりの大会」のコンセプトのもと、北九州市が「バリアのないまちづくり」を進めるための象徴として、平成15年度から毎年秋に「北九州チャンピオンズカップ国際車いすバスケットボール大会」を開催しています。

☆ 内容（令和2年度）

★ 期 日：令和2年11月12日(木)

★ 会 場：北九州市立総合体育館（八幡東区八王寺町4-1）

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「国際車いすバスケットボール大会」および「全日本ブロック選抜車いすバスケットボール大会」は中止。「北九州小学生車いすバスケットボール大会」のみ開催。

(3) 北九州市長杯小学生ふうせんバレーボール大会の開催

障害の有無、種類、程度に関わらず、誰もが対等に参加でき、すべての人が一緒に競技することのできる北九州市発祥のスポーツ「ふうせんバレーボール」を通じて、未来の社会を担う子どもたちの障害に対する理解を深め、支え合いの精神を養うことを目的として、平成20年度から毎年、市内の小学生で構成されたチームによる「小学生ふうせんバレーボール大会」を開催しています。

☆ 内容（令和2年度）

★ 期 日：令和3年3月14日(日)

★ 会 場：・北九州市立障害者スポーツセンター（小倉北区三郎丸3-4-1）  
・北九州市立小倉北体育館（小倉北区三郎丸3-4-1）

★ 参加チーム数：20チーム